

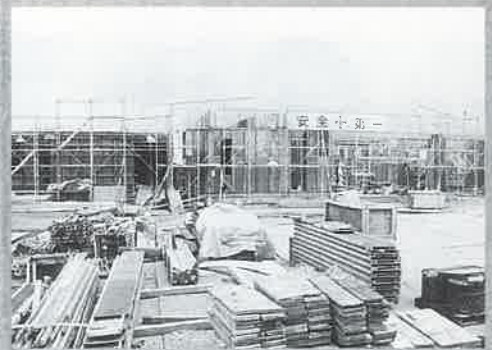
# 峰のひかり

発行人  
社会福祉法人 **七峰会**  
理事長 奥田 稔

〒036-8356  
青森県弘前市大字下白銀町21-8  
電話 (0172) 33-8861  
FAX (0172) 33-8862

## 『山郷館くろいし』 工事順調!!

(身体障害者療護施設)



### 【参考】身体障害者療護施設

重度の身体障害者（身障手帳1～2級程度）の方を対象に施設に入所していただき必要な介護を提供する施設です。

県内では、現在9施設あり、「山郷館くろいし」は、10番目の身体障害者療護施設となります。

山郷館（旧岩木町 定員54名）を分離建設している「山郷館くろいし」の工事が九月二十日オープンに向けて順調に進んでいます。「山郷館くろいし」は、現在の定員54名を30名に減らし、新たに黒石市に定員30名の施設を建設するという計画です。これにより、黒石市や近隣町村からご利用されている方がより出身地域に近くなり、ご家族やお友達との交流がしやすくなります。また、これまでの施設に無かった特徴を持っていますので、施設の概要とあわせいくつかご紹介いたします。

名称 「山郷館くろいし」

定員 30名（その他ショートステイ4名）

合計34名

住所 黒石市大字八甲64-1

黒石市役所・黒石病院・黒石商業高校・八間道路等市街地まで500mから1kmの範囲です。

特徴 ①完全ユニット方式です。（10人単位のフロアスペースでの生活様式です。）

②全個室です。

③ALS（筋萎縮性側索硬化症）難病）専用ベッド2床を備えています。

\* 以上は県内の身障者施設では最初のものであります。

重度身体障害者の介護施設としての実績を生かしながら、利用者一人ひとりの生活を重視した取り組みを行っています。さらには、黒石市を中心とした同地域において、各種住宅事業を含め、身体・知的・精神と広く障がい者福祉に係る中核施設としての機能を発揮できることを目標としています。

\* 施設に関するお問い合わせは左記までご連絡下さい。

□ 身体障害者療護施設 山郷館

☎ 0172(07)2211

□ 訪問介護センター 黒石

☎ 0172(99)0600

# 食べる楽しみは大切にしたいもの

介護保険法改正の中で、介護保険施設における管理栄養士の職務に「栄養マネジメント」が加わり、サービスの質の向上の面から考え

ても、非常に重要になりました。栄養マネジメントは「食べる楽しみ」を重視し、「食べる」ことによって低栄養を改善・予防し高齢者の生活機能の維持、向上を目的として制定されました。これは既に平成17年10月から始動していましたが、サンアップルホームでは従来の給食業務の中の栄養管理のあり方を見直し、お一人おひとりの栄養状態の把握と、医師の指示に基づいた、栄養改善のための計画を作成、実施、評価をしています。また、特定の疾患に対して悪影響のない療養食として、糖尿病食／腎臓病食／肝臓病食／胃潰瘍食／貧血食／膵臓病食／高脂血症食／痛風食／および特別な場合の検査食の提供を行っています。経管栄養の方で一部経口摂取が可能な方は、医師の指示の下で栄養管理を行なうことや、食事の形状についても、常食から軟食、ソフト食、流動食の幅広い対応を行なっています。

ここで一部療養食を紹介します。

## ◎献立◎

- ムース粥
- 豆乳スープ／豆腐とみつ葉の味噌汁
- お魚ハンバーグ
- 長いもの梅肉ソースかけ／はんぺんとひじきの炒め煮
- ほうれん草のおひたし／枝豆のお団子
- 漬け物
- アイスクリーム／抹茶とミルクのムース



**高脂血症食**  
肉よりも魚の良質のたんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富で総カロリーを控えたバランスの良い食事  
形状：ソフト  
食塊形成、移送、嚥下がしやすい食事



**糖尿病食**  
糖分はもちろん、脂肪分や塩分も調節し、食物繊維が豊富で総カロリーを控えた、栄養のバランスの良い食事  
形状：ムース  
咀嚼、嚥下困難な方でスムーズに安心、安全に喉を通る食事

人は口から食べることによって生きる力と喜びを得ます。そして、何よりも美味しいことが、身体の栄養にもつながるのです。

特別養護老人ホーム  
サンアップルホーム

# オリジナルごみ袋販売中

身体障害者授産施設  
旭光園

旭光園では授産活動のひとつとして、ポリエチレン製品の加工・販売を行っています。ご家庭で使われているゴミ袋、スーパー・コンビニといったお店用のレジ袋などです。

これまで下請け作業が主体という状況にあるため、授産活動のピーアールと販路拡大を目的にオリジナル商品の製作を考えていました。そんな時、利用者からの「片手で袋を結ぶのは難しい」という話をヒントに、袋の口が結びやすい紐付きのゴミ袋と手付きのゴミ袋を考案・製作しました。発売から約一年、爆発的なセールスとはいかないものの、口コミで徐々に拡がりを見せています。紐通しなど袋一枚手作りです。紐付きとした物に仕上がっています。旭光園や法人内施設の玄関先にあるワゴンで販売していますので一度お試し下さい。

原油の高騰から材料費の値上げや、輸入製品の回りなど厳しい状況ですが、今後も利用者の作業確保のためにも二段三段のオリジナル製品を考えていきたいと思えます。



# 幸運よカモ〜ン!

先日、旭光園の周囲を除草した際、カルガモの巣を発見し話題になっていきます。発見した場所はなんと居室の窓下、卵を抱えている親鳥が間近に見える所です。野鳥は良く見かけられるのですが、カルガモの巣は初めてです。カラスや野良猫が来ないか、100m離れた溜池に行けるのかなど心配しながらも、無事ヒナが誕生する日を楽しみに見守っています。



# 29歳のじよっぱり

知的障害者更生施設

拓光園

拓光園では、開設以来発刊し続けている小冊子があります。「私たちの文集 じよっぱり」です。その年、その年の拓光園の歩みを利用者の声と写真や文章でつづった小冊子も今年で29号を数えるまでになりました。

拓光園は昨年創立30周年を迎えました。旧園舎での生活から現在の建物になり、福祉の制度も措置から契約へそして自立支援法の成立とめまぐるしい変貌を遂げる中で「じよっぱり」は弥生の里で暮らす仲間たちの姿や生活ぶりをつづさに映し続けてきました。

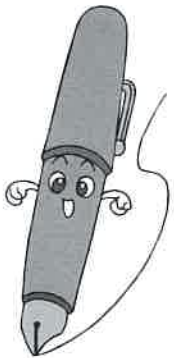
入所利用者のみならず、地域で暮らす知的障がいを持つ方も多く利用してくださるようになった。『みんなの力で明日を拓こう』というテーマで編集されました。本館利用者の各ユニットメンバーの紹介、作業班の紹介、クラブ活動行事などの紹介、さらには拓光園グループとしてのいろいろな事業所の紹介など盛りだくさんな内容



となっております。

「じよっぱり」が継続して長い間発刊できたのは寄稿にご協力してくださった多くの支援者の方々の賜物であり、これからも園の歩みの道しるべとして号を重ねて行きたいと考えています。

興味のある方はお分けいたしましたので当園までお問い合わせください。



# 無農薬野菜を目指して

知的障害者通勤寮

拓心館

拓心館グループ勇心学園より…

勇心学園では、作業に野菜づくりを取り入れています。これまで拓心館の中庭を利用して野菜を栽培し、主にグループホームの食材として提供してきました。今年度は『山郷館くろいし』の工事現場から出た、田んぼの表土を貰い受けることができましたので、畑を拡張して、本格的に農作業を行うことができました。

とはいっても、荒地地を畑に仕なくてはなりません。まずは、野菜づくりの前に畑づくりというわけです。貰った土は大型ダンプで30数台分、畑予定地の一角に30余りの山ができていました。それを人力で平にして、畑に作り替えなくてはなりません。少しずつ山の土を崩し、一輪車で崩した土を運んで畑にしていきました。最初「全部人の手でやるの？」と途方に暮れていた利用者の皆さんが、毎日日々忍耐強く作業をし、5月一杯で、ついに畑が完成しました。

◇ ◇ ◇  
今は6月、新しい畑には畝が出来、人参の種まきが始まろうとしています。拓心館中庭の畑には、ジャガイモ、大根、キュウリ、アスパラ、蕪(かぶ)、ほうれん草、小松菜などが

植えられ、ほうれん草や小松菜などの「葉もの野菜」は、1回目の収穫が終わりました。

◇ ◇ ◇  
勇心学園では、出来るだけ農薬を使わずに、安全で安心して食べられる野菜づくりを目指しています。ちなみに「葉もの野菜」は、細かい網目のネットでトンネルを作り、害虫を寄せ付けない方法をとっています(写真)。これにより全く農薬を使わずに、きれいな野菜を収穫することが出来ました。

◇ ◇ ◇  
農業県である青森県でも、外国から輸入された野菜が低価格で売られています。健康や長生きは食の安全からであり、野菜に限らず、作った人の顔が見えるということが安心につながるのだと思います。

◇ ◇ ◇  
勇心学園では、利用者が作る、無農薬で安全、安心な野菜を法人内の施設に提供することを目標にして頑張っています。



# 社会福祉法人 七峰会 平成17年度 決算報告書

## (貸借対照表、事業活動収支決算書、資金収支計算書)

これは、平成18年5月9日・10日・12日・18日に法人監査会を行い、平成18年5月26日に評議員会の同意を得て、同日理事会において承認されたものです。尚、閲覧は法人本部事務所にて可能です。

### 貸借対照表

(平成18年3月31日現在)

### 事業活動収支計算書 資金収支計算書

(自 平成17年4月1日) (自 平成17年4月1日)  
(至 平成18年3月31日) (至 平成18年3月31日)

(単位：千円)

(単位：千円)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	1,283,916	流動負債	177,976
固定資産	2,829,995	固定負債	67,954
基本財産	1,873,328	負債の部合計	245,930
その他の固定資産	956,667	純資産の部	
		基本金	573,005
		国庫補助金等特別積立金	681,022
		その他の積立金	527,457
		次期繰越活動収支差額	2,086,497
		(うち当期活動収支差額)	312,285
		純資産の部合計	3,867,981
資産の部合計	4,113,911	負債の部及び純資産の部合計	4,113,911

勘定科目	金額
事業活動収入	1,832,154
事業活動支出	1,518,856
事業活動収支差額	313,298
事業活動外収入	230,804
事業活動外支出	230,131
事業活動外収支差額	673
経常収支差額	313,971
特別収入	297,243
特別支出	298,929
特別収支差額	△1,686
当期活動収支差額	312,285
前期繰越活動収支差額	1,664,060
当期末繰越活動収支差額	1,976,345
基本金取崩額	288,339
その他の積立金額取崩	168,813
その他の積立金額	347,000
次期繰越活動収支差額	2,086,497

勘定科目	金額
経営活動収入	2,022,900
経営活動支出	1,629,230
経営活動資金収支差額	393,670
施設整備等収入	4,040
施設整備等支出	249,508
施設整備等資金収支差額	△245,468
財務活動収入	173,092
財務活動支出	359,279
財務活動資金収支差額	△186,187
当期資金収支差額合計	△37,985
前期末支払高	1,137,604
当期末支払高	1,099,619

脚注 1. 減価償却費の累計額 1,587,652千円  
 2. 徴収不能引当金の額 102千円

注記 1. 棚卸資産については、資金収支計算より除く。

<p><b>総合支援</b></p> <p>青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-4524</p> <p>弘前市委託事業 身体障害者相談支援事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2400</p>	<p><b>知的障害者援護</b></p> <p>拓心館 知的障害者グループホーム(9か所) 生活自立訓練事業 地域生活支援センター 勇心学園 デイサービスセンターエイブル TEL 96-2331</p> <p>通所利用事業 拓光園デイサービスセンター 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児短期入所支援センター 知的障害者グループホーム(2ヶ所)</p>	<p><b>身体障害者援護</b></p> <p>旭山郷館 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館アイサービスセンター弘前 山郷館アイサービスセンターくればん 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター 光園 57-5155 通所相互利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業 身体障害者福祉ホーム さわら</p>	<p><b>特別養護老人ホーム</b></p> <p>弘前市委託事業 サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p> <p>サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 TEL 37-1165</p> <p>認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p> <p>サンアップルホーム サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルホームデイサービスセンター サンアップルヘルパーセンター 認知症グループホームアップル TEL 97-2778 認知症デイサービスセンターじよい TEL 97-2013</p>	<p><b>居宅介護支援事業</b></p> <p>山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131</p>
--	---	--	--	---